



IBJ* 防除情報 第76号

(*Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)



いまどきの防除

(病害虫の発生予察と薬剤による防除対策)

●農水省は、10月18日に向こう1ヶ月の主要病害虫発生予報を発表しました。
 その中から主な作物を対象に、発生が「多い」と発表された病害虫とその地域及び防除農薬(弊社の推奨農薬)を一表にまとめましたので、推進のご参考にして下さい。(特記以外の使用方法は希釈液散布)

作物名	病害虫名	地域	防除農薬(当社推奨農薬)	
野菜・花き	作物共通※	オオタバコガ	北陸、近畿、四国	アクセルフロアブル、テルスター水和剤、アタブロン乳剤、トアローフロアブルCT
		シロイチモジヨトウ	北陸、東海、近畿、四国、北九州	アクセルフロアブル、テルスター水和剤/フロアブル、アタブロン乳剤、トアロー水和剤CT/フロアブルCT
		ハスモンヨトウ	北陸、中国	アクセルフロアブル、アタブロン乳剤、トアロー水和剤CT/フロアブルCT
	アブラナ科野菜※	コナガ	北東北、北陸	アクセルフロアブル
	いちご	アブラムシ類	北九州	ウララDF
	きゅうり	うどんこ病	北関東	ラミック顆粒水和剤、プロパティフロアブル、カリグリーン
	ねぎ	アザミウマ類	北陸、四国	ウララDF*、アタブロン乳剤*
果樹・茶	果樹共通※	果樹カメムシ類	東海、近畿、四国、九州	テルスターフロアブル/水和剤
	茶	カンザワハダニ	北陸、東海	テルスターフロアブル/水和剤

*：ネギアザミウマでの登録

※野菜花き作物共通およびアブラナ科野菜・果樹共通での防除農薬(当社推奨農薬)は、登録作物・病害・害虫種を確認して御使用下さい。

注意事項：フロンサイドSCは施設内では使用しないで下さい。

用語概説(地域)

北東北：青森県、岩手県、秋田県 / 南東北：宮城県、山形県、福島県 / 北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 / 北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県 / 南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県



クズとクズの防除方法

▶ クズ（葛）とは

マメ科クズ属のつる性の多年草です。
人間との関わりが深く、古くから食用（葛切りや葛餅など）や薬用（葛根湯など）、
材料として用いられてきました。
かつては飼料としても重宝され、馬や牛だけでなくヤギ、ウサギなど多くの草食動物が
好んで食べます。

▶ クズの生態と防除

成長期間は4月～11月で、地下茎と種子で繁殖し、山地、原野、堤防、空き
地などいたる所にごく普通に生育します。春になると地下茎から発生し、つるを伸ばし
ながら盛んに分岐して四方八方に広がり、また、木などからみついて伸びます。

繁殖力が非常に強い植物で地上部のつるを刈り取っても地下に根茎が残り、すぐ
につるが再生してきます。その長さは数十メートルまで伸びることもあります。過去には
万葉集で詠まれたり、それなりに利用価値の高い植物でしたが、現在は厄介者とし
て嫌われる難防除雑草です。

繁殖力が旺盛で主根は木の様に硬く太くなり、ほとんどの除草剤では葉は枯らして
も根まで枯らすことは困難なクズですが、秋冬はクズの主根が見つけやすくなります。
その時期に根に直接薬剤を注入して株を枯らす方法があります。これに適する除草
剤として「ケイピンエース」があります。



…生育中のクズ…

葉は互生し、長い葉柄の先に3枚の葉をつけます。

葉は大きく普通は円形～楕円形ですが、3裂するものもあります。



弊社製品のご紹介

農林水産省登録 第21217号

クズ・木本性のつる類防除剤

ケイピンエース[®]

(イマザピル剤)

特 長

ケイピンエースは最も難防除とされる「クズ・木本性つる類」枯殺の除草剤として開発されました。

木針（楊枝状）に除草剤イマザピルを染み込ませ、特殊な製剤に加工しています。

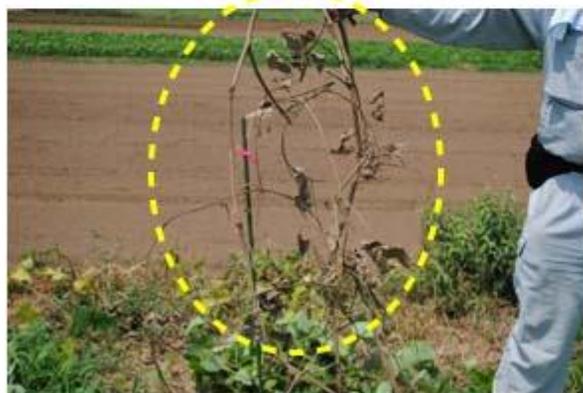
- ・ケイピンエースを根株に施用することにより、クズ・木本性のつる類全体を防除します。
- ・対象雑草に直接処理するので周辺作物に影響ありません。
- ・一年中処理できます。**根株のを見つけやすい秋～春の時期**に作業すると効率的です。
- ・処理時に薬剤調製や水等の準備が不要で、持ち運びが便利です。



ケイピンエース製品



クズの親株に施用されたケイピンエース



施用25日後のクズ
地上部の葉が枯れています。

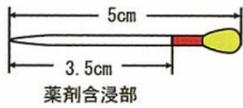


施用90日後のクズの根株
茎・株が腐敗しクズが枯死しています。

ケイピンエースの使用方法和適用雑草

使用方法

①色をつけていない部分に薬が浸みこんでいます。(イマザピル剤)



5cm
3.5cm
薬剤含浸部

赤い部分が少し埋まるまで刺してください。

②株に刺してください。

クズにキリか電動ドリルで穴をあけてケイピンエースを差し込みます。

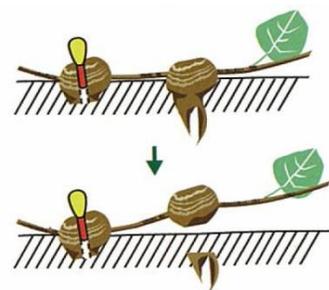


株が小さく、つるが地面に平行に出ている場合。
株の中央部に真上から1本

株が大きく、つるが複雑に出ている場合。
つるの最下部の下に2~3本

③その他の注意事項

つるが先で根を降ろしている場合
根を引き抜いておいてください。
親株から薬が移って枯れます。根が張って抜けない株にはケイピンエースを刺してください。



適用雑草

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマザピルを含む農薬の総使用回数								
すぎ (下刈り代用) ひのき (下刈り代用)	-	クズ	萌芽期 ~ 生育期	一株当たり1~3本	-	クズの根株、またはなるべく根元に近い茎にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を薬の露出部全部がかかれるように差し込む。	-								
林木	造林地	木本性 つる類		<table border="1"> <tr> <td>つる径 (cm)</td> <td>本数 (本)</td> </tr> <tr> <td>~3.0</td> <td>1~2</td> </tr> <tr> <td>3.1~5.0</td> <td>3~4</td> </tr> <tr> <td>5.1~6.0</td> <td>5~6</td> </tr> <tr> <td>6.1以上</td> <td>7~</td> </tr> </table>		つる径 (cm)		本数 (本)	~3.0	1~2	3.1~5.0	3~4	5.1~6.0	5~6	6.1以上
つる径 (cm)	本数 (本)														
~3.0	1~2														
3.1~5.0	3~4														
5.1~6.0	5~6														
6.1以上	7~														
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面等	クズ	一株当たり1~3本	1回	植栽地を除く樹木等の周辺地のクズの根株、またはなるべく根元に近い茎に、あらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を薬の露出部全部がかかれるように差し込む。	1回									

注意事項

- ・処理後、本剤が簡単に抜けないよう適当な太さの錐などで穴をあけて差し込んでください。
- ・降雨、降雪中での使用はさけてください。
- ・本剤処理の前後に処理株のつる切りを行うと、切り口の溢出水によって植栽木に薬害を生じることがあるので注意してください。

石原の農薬登録情報



●2017年9月28日～10月26日までの間に登録された弊社の新農薬（適用拡大を含む）は、次の通りです。（下線部が適用拡大になりました。）

適用拡大

10/25付け

◇ テルスターフロアブル

<使用回数の変更>

- ・作物名「ぶどう」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ、ビフェントリンを含む農薬の総使用回数を「2回以内(くん煙剤は1回以内)」から「2回以内(散布は1回以内、くん煙は1回以内)」へ変更する。
- ・作物名「りんご」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ、ビフェントリンを含む農薬の総使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。

★本内容は使用制限となる負の適用拡大です。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	4,000倍	200～700 ℓ ／10a	収穫 14日前まで	1回	散布	2回以内 <u>(散布は1回以内、 くん煙は1回以内)</u>
りんご	シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ アブラムシ類 ギンモンハモグリガ ハダニ類 カメムシ類 ヨモギエダシヤク	3,000倍		収穫 前日まで			1回

◇ テルスター水和剤

<使用回数の変更>

- ・作物名「りんご」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ、ビフェントリンを含む農薬の総使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。
- ・作物名「ぶどう」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ、ビフェントリンを含む農薬の総使用回数を「2回以内(くん煙剤は1回以内)」から「2回以内(散布は1回以内、くん煙は1回以内)」へ変更する。

★本内容は使用制限となる負の適用拡大です。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数
りんご	モモシンクイガ キンモンホソガ ギンモンハモグリガ ハマキムシ類 アブラムシ類 リンゴハダニ ナミハダニ	1,000倍	200～700 ℓ ／10a	収穫 前日まで	1回	散布	1回
ぶどう	チャノキイロアザミウマ			収穫 14日前まで			2回以内 <u>(散布は1回以内、 くん煙は1回以内)</u>

◇ システムスワルくん

<使用量の変更>

・作物名「マンゴー(施設栽培)」の使用量を「2パック/樹」から「1～2パック/樹」に変更する。

<作物名の追加>

・作物名「びわ(施設栽培)」を追加する。

・作物名「花き類・観葉植物(施設栽培)」を追加する。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スワルスキーカブリダニを含む農薬の総使用回数
マンゴー (施設栽培)	チャノキイロアザミウマ	1～2パック/樹	発生直前 ～ 発生初期	—	放飼	—
びわ (施設栽培)	ミカンハダニ	2パック/樹	発生直前 ～ 発生初期	—	放飼	—
花き類・ 観葉植物 (施設栽培)	アザミウマ類	200パック/10a	発生直前 ～ 発生初期	—	放飼	—

◇ ナインG乳剤

<作物名の追加>

・作物名「日本芝」を追加する。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ニコスルフロンを 含む農薬の 総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	チガヤ	春夏期 芝生育期 (雑草生育期)	0.1～ 0.15ml/m ²	100～ 200ml/m ²	3回以内	散布	3回以内

<使用上の注意事項の変更・追加>

一般的注意事項(1)と作物別注意事項(2)に項目を分割し整理する。

また、作物名「日本芝」に関する(3)-1)～4)を以下のとおり追加する。

(3)日本芝で使用する場合は、一般的注意事項の他に、次の事項に注意すること。

- 1) 寒地型西洋芝では薬害を生じるので使用しないこと。特にゴルフ場で寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーランド周辺では使用しないこと。
- 2) 芝の生育が劣っている場合や生育初期に使用する場合、葉に黄変を生じることがあるが、その後の生育に影響はない。
- 3) 萌芽期には、薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
- 4) 日本芝にはターフを形成してから使用すること。

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチウ量を測定し、防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 開発普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



**センチウ検定
無料キャンペーン
実施中**